

---

# 土木 と 学校教育

---

東京工業大学・大学院理工学研究科

土木工学専攻

藤井 聡

# 「土木」とは何か？

土木とは、我々の社会に存在する様々な土木施設を「整備」し、そしてそれを「運用」していくことを通じて、我々の社会をより良い社会へと少しずつ改善していこうとする社会的な営みを意味する。

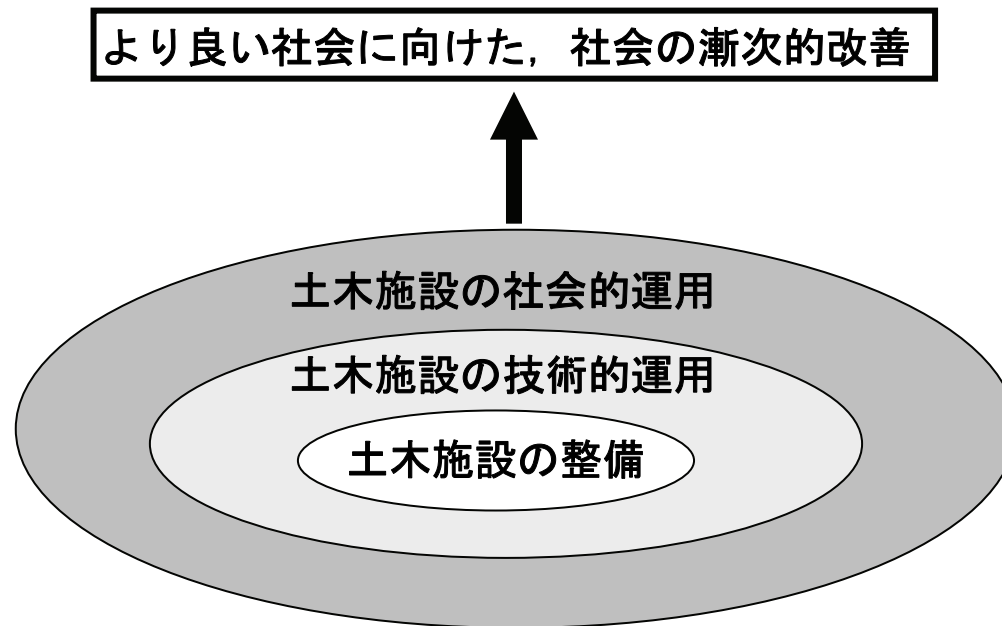


図 土木という「社会的営為」 (『土木計画学～公共選択の社会科学～』  
(藤井, 2008)より)

# 「土木」とは何か？

---

たとえば....

## 「整備」としての土木

- ①ダムや堤防を作り、**自然災害を防ぐ**
- ②道路や鉄道を作り、街・地域を**便利に／元気にする**
- ③水や電気の施設を作り、**文明的な生活・社会の発展させる**

## 「運用」としての土木

- ①地震や大雨の時に、どう逃げるかの社会的理解を促し、  
**自然災害を防ぐ**
- ②鉄道や道路の適切な利用の仕方の社会的理解を促し、  
街・地域を**便利に／元気にする**
- ③水や電気の適切な利用の社会的理解を促し、  
**文明的な生活・社会の発展させる**

# つまり.....

---

土木とは、

みんなのことを考えて、  
よりよい社会をめざす、  
公共的な取り組み

ということを意味している。

# 新しい教育基本法における 目標達成における土木の役割

---

- 2006年、我が国の教育基本法が戦後すぐに発布・施行されて以来初めて改訂
- その中で、  
公共の精神を尊び、  
国家・社会の形成に主体的に参画する国民の育成  
といった教育目標が今回はじめて明確に掲げられた。

「土木」は、その教育目標における  
極めて重要な**教材**たり得る。

# なぜなら. . . .

---

(繰り返しとなるが) 土木とは,

「みんなのための、公共的な取り組み」

だからであり、それ故に、当然ながら  
その「取り組み」を学び、それに参画することは、  
「**公共の精神**」の涵養に有効であろうと考えられる。

「土木」は、その教育目標における  
極めて重要な**教材**たり得る。

# ただし.....

---

1. 具体的に、どの様な**テーマ・授業プログラム**が考えられるのか？
2. その授業プログラムは、**教育学的にどの様に位置づけられる**のか？ (→学年・単元)
3. その授業プログラムを、実質的に普及していくには、どの様な**実施体制・支援体制・戦略性**が必要か？

本日はWSは、まさにこうした諸点を  
広範に考え始める、**第一歩**！

# 本日のWSについて

- 以上の様な問題意識の下、  
土木学会では(教育企画・人材育成委員会内に)、  
**「土木と学校教育会議」検討委員会**を設置。
  - メンバー = 土木系学識・関係機関, 国交省,  
教育学系学識・関係機関
  - 次年度には、今回のWSをさらに拡大した、  
**「土木と学校教育会議」**(8月7日予定)を開設予定
- 本日のWSは、その実質的なキックオフ！。



# 本日のプログラム

土木関係者  
教育関係者

## ◆土木と学校教育

・藤井聡(東京工業大学大学院・土木工学科・教授)

## ◆シチズンシップ教育と土木

・唐木清志(筑波大学大学院・人間総合科学研究科・准教授)

## ◆実践事例報告 I

・土木遺産を活用した学習の実践事例

～今尚之(北海道教育大学・准教授)

・防災学習の実践事例

～高橋治郎(愛媛大学教育学部・教授)

・土木の総合学習・理科学習支援事例

～末武義崇(足利工業大学・都市環境工学科・教授)

(昼休み)

## ◆実践事例報告 II

・モビリティマネジメント学習の実践事例

～高木俊樹(秦野市教育委員会・教育指導課 課長)

・まちづくり学習の実践事例

～菅野智広(札幌市立資生館小学校・教諭)

## ◆パネルディスカッション「土木と学校教育の接点」

コーディネーター: 藤井聡(東京工業大学大学院・教授)

パネリスト: 新保元康(札幌市山の手南小学校・校長)

松村暢彦(大阪大学大学院・准教授)

唐木清志(筑波大学大学院・教育学類・准教授)

## ◆とりまとめ

工藤文三(国立教育政策研究所)

本日は是非、  
「土木と学校教育の接点」  
についての、  
多面的な、情報交換・ご議論の程、

よろしくお願ひ致します！